

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	37	旅程管理
1年	45	基礎キャリア形成ゼミ
1年	46	実践キャリア形成ゼミ
1年	47	初年次ゼミ
2年	71	テーマパークビジネス
2年	83	観光ゼミⅡ（小里）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-3-ECO-23				
		●			●					
科目名	旅程管理				単位 認定者	堤 博史		評価の 方法	試験 (レポート)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目では旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について座学と実習により理解を深める。旅程管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者（旅行者）にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。									
到達目標	旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について理解を深め円滑なツアーを実施できるようにする。国内旅程管理主任者の公的資格を取得するために必要なレベルの知識を身につけることができる。									
学修者への 期待等	限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者（公的資格）の修了を目指す。集中して受講してほしい。修了した者には、添乗実習を実施する。									
回	授業計画					準備学修				
1	日本の旅行業界の現状と将来性					本科目は集中講義のため、以下のように準備してこること。（各回概ね1時間） ①国内旅行（訪日外国人旅行も含む）と海外旅行の現状について調べておくこと。 ②講義前に教科書の該当するページを読んでおくこと。				
2	旅行業法（概要、総則他）									
3	旅行業法（旅行業等）									
4	標準旅行業約款（約款とは）									
5	標準旅行業約款（総則他）									
6	標準旅行業約款（契約、旅程管理、責任他）									
7	標準旅行業約款（旅程保証他）									
8	関係機関約款（国内旅客運送、一般貸切旅客自動車運送、フェリー標準運送、モデル宿泊）									
9	国内旅行実務について									
10	添乗員の役割と心構え（添乗員とは、添乗員の役割、添乗員の基本的要件）									
11	添乗員実務（各種書式等）									
12	添乗員実務（日帰りバスツアー、航空機利用ツアー）									
13	添乗員実務（JR利用ツアー、宿泊）									
14	関係機関の基礎知識									
15	観光地理									
教科書	「旅程管理主任者資格取得講座テキスト（基礎・国内）」アクトレップ株式会社									
参考文献	必要に応じて指示する。									
備考	本科目は4日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義後に修了テストを実施する。 本試験は、観光庁長官旅程管理登録研修機関第20号（アクトレップ株式会社）の協力を得て実施する。受験諸費用・修了証書・実習費用が、別途必要となる。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
総合旅行業務取扱管理者、観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。 海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から、旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明することができる。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-4-SEM-01				
	●	●	●	●	●					
科目名	基礎キャリア形成ゼミ				単位 認定者	小里 千寿		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	自身のキャリアを形成することの意味を主体的に捉え、これからの社会生活をどのように充実させていくのかを考えられるようにする。また、最近の社会や職業の動向について理解を深め、働く意味について考え、自らの将来をイメージできるようにするなど、職業意識を涵養していく。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画をたてられるようにする。									
到達目標	①キャリアとは何かを自分ごととして理解する。 ②変化と多様性の時代におけるキャリア設計について理解する。 ③自分のキャリアプランを実現するためにすべき事柄を導き出すことができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス，大学生活とキャリア					【事後】自分が2年間で目指すものを書き出してみる（30分程度）。				
2	「働くこと」の意味を考える					【事後】グループワークでの自分の役割の反省を行う（30分程度）。				
3	就職サイトへの登録と活用法					【事後】就職サイトで自己分析のページを利用してみる（1時間程度）。				
4	キャリアについての考え方					【事前】自分自身のキャリアの定義を考えておく（30分程度）。				
5	キャリアに対する思い込みを排除する					【事前】自分自身のキャリアの定義を考えておく（30分程度）。				
6	「働き方」について考える					【事前】理想のロールモデルについて考えておく（30分程度）。				
7	新卒に求められる力とは					【事前】なぜ企業は新卒を採用するのだろうか、自分の考えを箇条書きにしたメモを授業に持参する（30分程度）。				
8	社会人のキャリアヒストリーを聞く（その1） ゲストスピーカー					【事後】講話を聴いての感想文を800字で書いて提出する（授業内課題）（1時間程度）。				
9	自己分析とは何か（自己分析をおこなう理由）					【事後】授業で配布されたワークシートを完成させる（1時間程度）。				
10	自己分析とは何か（様々な自己分析の方法）					【事後】授業で配布されたワークシートを完成させる（1時間程度）。				
11	社会人基礎力と自分に不足するスキルを知る					【事後】授業で配布されたワークシートを完成させる（1時間程度）。				
12	インターンシップと採用プロセス					【事後】就職サイトでインターンシップ情報を検索する（30分程度）。				
13	社会人のキャリアヒストリーを聞く（その2） ゲストスピーカー					【事後】講話を聴いての感想文を800字で書いて提出する（授業内課題）（1時間程度）。				
14	自己分析から自己PRへ					【事後】自己PRを250字でまとめて提出する（1時間程度）。				
15	ふりかえり，キャリア形成と就活の実態					【事後】Afterに記入し，後期の取り組みを計画する（30分程度）。				
教科書	必要に応じて適宜配布する。									
参考文献	「改訂版キャリア形成1－社会・集団・個人の役割を学ぶ」東海大学キャリア就職センター 東海大学現代教養センター編									
備考	・本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。 ・受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。 ・授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要，実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-02				
	●	●	●	●	●					
科目名	実践キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		評価の方法	試験 （レポート）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。 自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、インターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークやグループディスカッションをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業ガイダンス…「就職ノート」を作る					【事後】「就職ノート」記入できる事項をピックアップしておく（30分程度）。				
2	就職ガイダンスⅠ…就職活動キックオフガイダンス、支援センターの利用方法、求職票の作成就活への準備と心得					【事後】学んだポイントを「就職ノート」にまとめておく（1時間程度）。				
3	就職サイトの活用法					【事後】就職サイトの「先輩の体験談」を視聴する（1時間程度）。				
4	業界研究とは					【事後】学んだポイントを「就職ノート」にまとめておく（1時間程度）。				
5	グループワーク①…様々な業界を理解する					【事前】興味のある業界を2～3ピックアップし、おおまかに調べておく（1時間程度）。				
6	企業研究のやり方					【事前】志望する企業について2～3決定し、おおまかに調べておく（1時間程度）。				
7	グループワーク②…企業研究					【事後】志望する企業をいくつかピックアップしておく（1時間程度）。				
8	就職ガイダンスⅡ…履歴書・エントリーシートの書き方					【事後】自己PRと学生時代に力を入れたことを履歴書の欄に記入する（1時間程度）。				
9	グループワーク③…わかりやすい履歴書・エントリーシートについて、他者の意見を聞いて理解する					【事前】志望する業界・企業のエントリーシートを書いてみる（1時間程度）。				
10	グループワーク④…自分の調べた企業を発表する					【事前】志望する企業をいくつかピックアップして調べておく（1時間程度）。				
11	就活マナー講座…第一印象の大切さ、社会人としてマナーリクルートスーツの着こなし方					【事後】学んだポイントを「就職ノート」にまとめておく（1時間程度）。				
12	就職体験報告会…2年生から実際の就職活動体験を聞く					【事後】学んだポイントを「就職ノート」にまとめておく（1時間程度）。				
13	面接セミナー…面接の種類、面接のポイント、面接練習					【事後】学んだポイントを「就職ノート」にまとめておく（1時間程度）。				
14	グループによる企業研究報告発表					【事後】各グループへのピアレビューをワークシートにまとめて提出する（1時間程度）。				
15	講座のまとめと総括：社会人とキャリア形成					【事前】志望動機を含めた履歴書を書いて授業に持参する（授業内課題）。 【事後】教科書のAfterに記入し、自分の振り返りをする（30分程度）。				
教科書	必要に応じて、授業において配布する。									
参考文献	「改訂版キャリア形成2ー業界研究とセルフマネジメント」東海大学現代教養センター編、東海大学キャリア就職センター									
備考	ゲスト講師や学生総合支援センターの協力体制、受講者の理解度等により、講義の順番や内容を変えることがある。授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-04				
	●		●							
科目名	初年次ゼミ				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	前期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>受講態度</td> <td>30 %</td>	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするための基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目的とする。 また、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、コミュニケーションスキルの向上を目指す。									
到達目標	大学新入生にとって、授業を中心とした大学生活で身につけておくべきさまざまなスキルを修得し、大学生活におけるいろいろなシーンで活用できるようになる。									
学修者への期待等	学修内容により、1年生全員が合同で受講する場合とゼミ別に受講する場合がある。事前にUNIPA等で連絡するので、欠席や遅刻をせず、どちらにも積極的に参加すること。 また、各ゼミの演習では、担当教員の指示に従うこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス、大学生活を始めるにあたって					【事前】学生便覧、シラバスをよく読んでおくこと（概ね50分）。				
2	スタディースキル① 基本的なITスキル					【事前】PCの基本的操作、ネットワーク接続方法などを確認しておくこと（概ね50分）。				
3	スタディースキル② 大学生活の基本的マナー					【事前】日常で目にするEメール文について、改めて見直しをしておくこと（概ね50分）。				
4	スタディースキル③ 図書館の活用方法					【事前】これまで自分が行ってきた資料活用方法について、見直しをしておくこと（概ね50分）。				
5	スタディースキル④ホスピタリティについて考える（ゲストスピーカー）					【事前】「ホスピタリティ」という言葉の広義の意味について考えておくこと（概ね50分）。				
6	スタディースキル⑤ 自分の適性を知る:ジェネリックスキル									
7										
8	フィールドワーク① 調査の予備知識									
9	フィールドワーク② 課題設定（グループワーク）									
10	フィールドワーク③ 調査準備（グループワーク）									
11	フィールドワーク④ 現地調査（グループワーク）									
12										
12	フィールドワーク⑤ 調査のまとめと発表準備（グループワーク）					【事前】調査データ、写真や動画などをよく整理しておくこと（概ね50分）。				
13	フィールドワーク⑥ ゼミ内発表					【事前】グループで発表原稿、スライド送り作業などの準備をしておくこと（概ね60分）。				
14	フィールドワーク⑦ 全体発表					【事前】フィードバックを受け、発表のブラッシュアップを行っておくこと（概ね60分）。				
15	レポート作成の技術					【事前】事前にアップロードされる授業資料を読んで、理解しておくこと（概ね30分）。				
教科書	特に指定しないが、参考資料を適宜配布する									
参考文献	授業中に各教員から指示する。									
備考	授業の順番や進行は、受講者の理解度等によって変更することがある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-3-ECO-13					
		●			●						
科目名	テーマパークビジネス				単位 認定者	鎌田 貢治		評価 の方法	授業内課題等	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	20	%
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間		最終レポート	40	%
						授業回数	15 回				
授業の概要	我が国では1980年以降、東京ディズニーランドを始めとするテーマパークが次々と開園したが、それらの多くがバブル後に経営不振や休業、廃業に追い込まれた。本科目ではケーススタディとしていくつかのテーマパークを取り上げ、外的環境と企業努力の点から成功と失敗の要因を分析、理解する。また適宜テーマパークを実際に視察し、実際の運営に触れることで、テーマパークにおけるビジネスモデルを学ぶ。										
到達目標	テーマパークがもたらす経済効果とその周辺に係わる観光事業等がどのように関わっているのかを認識してもらう。またTDLのホスピタリティを深耕することで、自身のパーソナリティの一つの選択肢として会得してもらう。また世界のパークについても基本事項を会得する										
学修者への期待等	日本のテーマパークについて、現在どのような状況なのかを認識する。またTDL USJの2大テーマパークについては個人の感想を含めて意見を求める。八木山ベニーランド、スパリゾートハワイアンズでのフィールド学習を実施する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンス：講師自己紹介、講義の進め方、テーマパークの位置付など					特になし					
2	テーマパークの歴史と現状（国内、海外）の考察及び八木山ベニーランドの事前検証					事前：興味のあるテーマパークを調べておく。（概ね30分）					
3	【現地調査①】八木山ベニーランド調査及び講話					事前：八木山ベニーランドについて調べておく。（概ね30分）					
4						事後：視察結果と講話の感想を準備まとめる。（概ね30分）					
5	ベニーランド視察の振り返り検証。TDLの歴史的背景及び現状。米国との相違性等					事前：TDLについての概要を調べておく。（概ね30分）					
6	テーマパークにおけるホスピタリティ おもてなし、サービスの違いを検証					事前：ホスピタリティとは何か考えておく。（概ね30分）					
7	グループワークにて上記内容のワーキング作業					事前：グループごとにパワーポイント作成、発表の準備。（概ね30分）					
8	上記各グループによるロールプレイング発表。USJの実態の検証。					事前：USJの概要を調べておく。（概ね30分）					
9	TDL、USJ以外のテーマパークを対象にグループによる仙台発のモデルコースを作成					事前：対象にしたテーマパークの概要を調べておく。（概ね30分）					
10	モデルコースの作成と発表					事前：グループで発表の準備。（概ね30分）					
11	日本及び海外のテーマパークの紹介 検証					事前：海外のテーマパークの事前調べ。（概ね30分）					
12	ハワイアンズフィールド学習					事前：ハワイアンズの概要を調べておく。（概ね30分）					
13						事後：視察結果と講話の感想をレポート400字にまとめる（授業内課題①）。（概ね30分）					
14	上記各グループによるハワイアンズの振り返り検証。旅行とテーマパークとの関連性の考察					事前：グループごとにパワーポイント作成、発表の準備。（概ね30分）					
15	全体授業の振り返り。今後のパークの在り方等検証。					事後：期末レポートの構成・資料収集。（概ね30分）					
教科書	特になし										
参考文献	「ディズニーランドはなぜお客様の心をつかんではなさないのか」 芳中 晃著										
備考	本科目では八木山ベニーランド、スパリゾートハワイアンズを訪問する予定で、2コマ連続、あるいは終日の授業になるため履修者はUNIPAなどの情報に注意し、他の予定を入れないなどの対応が必要になる。授業への疑問等については、次回授業にフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											
旅行会社に40年以上勤務し、営業職として様々な経験を有しており、テーマパークビジネスに関しても造詣が深い。											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-4-SEM-10				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅡ				単位 認定者	小里 千寿		評価の 方法	試験 (レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内 課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光ゼミⅠ」で学んだコミュニケーション力と、課題の発見・解決力などを引き継ぎ、さらにそれらの力を観光ビジネスの現場において活かせるように、各自の関心に従って選択した観光ゼミでの討論やグループワーク、校外授業などを通して、一層の課題発見力、コミュニケーション力、課題解決力などを涵養する。具体的には教員の助言のもとで各自の研究テーマを定め、調査し、発表、振り返りまで行うプロセスを経ることで観光研究の経験を積み、自分の言葉で観光を語る力を養成する。									
到達目標	結婚というテーマを切り口に、現代日本における若年層の意識の変容を探ることを通して、少子高齢化問題、正規・非正規などの雇用問題、ワークライフバランス、多様性など、現代に内包する問題への理解を深める。その上で、将来自分が目指す職業においてどのような意識変革や解決すべき問題があるかについて探求する力を醸成する。									
学修者への期待等	それぞれのキーワードに対する理解及び課題を見つけ、問題に対してどのように探求すればよいかの方法を整理するための講義である。また、リサーチやディスカッションを通して、自分の考えを広げ他者を受け入れる価値観を醸成するためのプログラムとなっている。 学習成果：探究心、情報収集力、コミュニケーション力、思考力、課題解決能力、主体性									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス：ゼミの進め方、ゼミ長などの選出、ゼミ予定の検討。調査するインバウンドテーマの選定。					予習：なし 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
2	講義：現代社会の若年層における結婚に対する意識の変容（問題の抽出）					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
3	関連施設見学及び担当者からのヒアリング 情報収集、担当者とのディスカッション、リサーチペーパーのまとめ					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
4						予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
5	調査内容のプレゼンテーション					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
6	講義：結婚から見る少子高齢化問題について					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
7	関連施設見学及び担当者からのヒアリング 情報収集、担当者とのディスカッション、リサーチペーパーのまとめ					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
8						予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
9	調査内容のプレゼンテーション					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
10	講義：働き方の変化（正規・非正規雇用問題）					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
11	社会人に聴く（様々な働き方）① ゲストスピーカー					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
12	社会人に聴く（様々な働き方）② ゲストスピーカー					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
13	社会人に聴く（様々な働き方）③ ゲストスピーカー					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
14	少子高齢化と雇用から見る仕事と働き方の変化について					予習：講義中に指示された事項（30分） 復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
15	まとめ：「自分と仕事」について語ろう （ディスカッション）					復習：リアクションペーパーの記入（30分）				
教科書	特に使用しません。必要な資料を随時配布します。									
参考文献	授業中に適宜紹介します。									
備考	授業への疑問等については、次回以降の授業にフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）